



ラグビーワールドカップが やって来る！ ～ジャパンラグビーと 北野高校

TM



4年に一度じゃない。
一生に一度だ。

— ONCE IN A LIFETIME —

公益財団法人

ラグビーワールドカップ2019組織委員会

事務総長特別補佐 三谷秀史

昭和45年卒（82期）

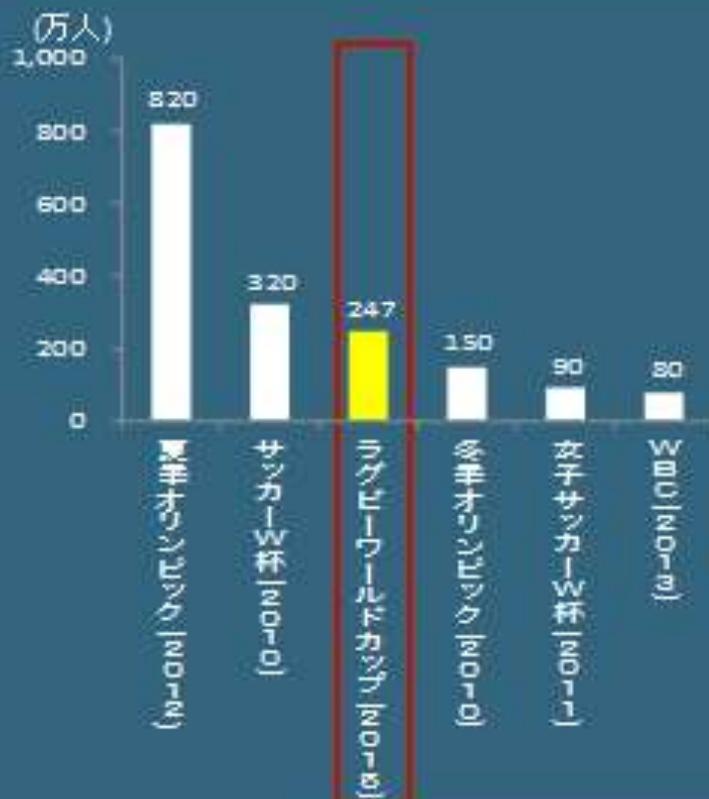
略歴・ラグビー歴

- 1967年 大阪府立北野高校→ラグビー部(体育2のラグビー選手)
- 1969年 大阪高校選抜(韓国、台湾との国際試合)
- 1970年 京都大学→体育会ラグビー部(関西大学一部リーグ)
- 1974年 警察庁入庁
- 1978年 英国留学→カレッジラグビー部入部(日英ラグビーの差実感)
- 1991年 大阪府警察警備部長→府警ラグビー部長(関西社会人リーグ)
- 1994年 防衛庁出向→自衛隊ラグビーとの出会い(防衛OVER40参加)
- 1997年 岡山県警察本部長→「桃惑」入部
- 2000年 総理秘書官(総理は?)
- 2002年 千葉県警察本部長→「房惑」入部
- 2004年 警察庁外事情報部長
- 2006年 内閣情報官
- 2010年 拉致問題対策本部事務局次長→事務局長→内閣府参与
- 2017年 ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長特別補佐

RWCとは？

～ 世界三大スポーツイベントの一つ

約200万人強が観戦する
世界3大スポーツ大会の一つ



TV放送は延べ約42億人が視聴する



2019年にラグビーワールドカップが、アジアで初開催！



RWCとは？ ～ 歴史は意外と新しい

	開催国	優勝国	本戦参加数	チケット販売数	TV放送国	TV視聴者数
第1回	1987年	ニュージーランド・オーストラリア	16	60万枚	17	2.3億人
第2回	1991年	イングランド	16	100万枚	103	14億人
第3回	1995年	南アフリカ	16	110万枚	124	23億人
第4回	1999年	ウェールズ	20	170万枚	209	31億人
第5回	2003年	オーストラリア	20	189万枚	193	34億人
第6回	2007年	フランス	20	225万枚	200	42億人
第7回	2011年	ニュージーランド	20	135万枚	207	39億人
第8回	2015年	イングランド	20	247万枚	210以上	40億人以上
第9回	2019年	日本	?	?	?	?
第10回	2023年	フランス	?	?	?	?

▶ 観客総動員数

247万人

▶ TV放送視聴者数

40億人

▶ 放送地域

200の国と地域

▶ 決勝戦テレビ視聴者数

12,000万人

▶ 海外からの観客数

46万人

▶ ボランティア数

6,000人





RWCとは？ ～ 歴史は意外と新しい

開催国

優勝国

本戦
参加数

チケット
販売数

TV
放送国

TV
視聴者数

2019大会 ～ 3つの「初めて」

- ①ラグビー伝統国以外で**初**
- ②アジアで**初**
- ③ラグビー(セブンズ)が
夏季オリンピック種目に採用されてから**初**

日本はラグビー「後進国」ではない！



- 1823年 ラグビーの公式起源
ラグビー校 ウィリアム・ウェブ・エリス
- 1863年 サッカーとラグビーの分岐
- 1871年 「ラグビー協会」の設立
- 1874年 横浜にて記録上初めてのラグビー試合
- 1899年 日本への公式導入
(慶應義塾大学ラグビー部創部)
- 1901年 横浜にて慶應義塾大学対横浜フォリナーズ
- 1910年 京都下鴨神社「ラグビー第一蹴の地」
- 1911年 三高対慶應（日本人同士の初試合）
- 1926年 日本ラグビー協会創立



日本はラグビー「後進国」ではない！

日本ラグビーの略史

- (1871年 イングランド「ラグビー協会」創立)
- 1874年 横浜にて記録上初めてのラグビー試合
- 1899年 日本への公式導入
(慶應義塾大学ラグビー部創部)
- 1901年 横浜にて慶應義塾大学対横浜フォリナーズ
- 1910年 京都下鴨神社「ラグビー第一蹴の地」
- 1911年 三高対慶應 (日本人同士の初試合)
- * **1923年 北野中学ラグビー部創設**
- 1926年 日本ラグビー協会創立



ラグビーワールドカップ2019™ 大会概要



主催	ワールドラグビー (WR)
開催時期	2019年9月20日～11月2日 (約7週間)
参加チーム	20チーム
試合形式	①プール戦 5チーム×4プール (プール内総当たり戦) 40試合 ②決勝トーナメント 準々決勝、準決勝、3位決定戦、決勝 8試合 合計48試合
試合会場	日本全国12会場 開幕戦：東京スタジアム (9月20日) 決勝戦：横浜国際総合競技場 (11月2日)



プールA	プールB	プールC	プールD
アイルランド	ニュージーランド	イングランド	オーストラリア
スコットランド	南アフリカ	フランス	ウェールズ
日本	イタリア	アルゼンチン	ジョージア
ロシア	ナミビア	アメリカ	フィジー
サモア	カナダ	トンガ	ウルグアイ

2017年5月10日京都迎賓館において組み分け抽選会（Pool Draw）を開催。



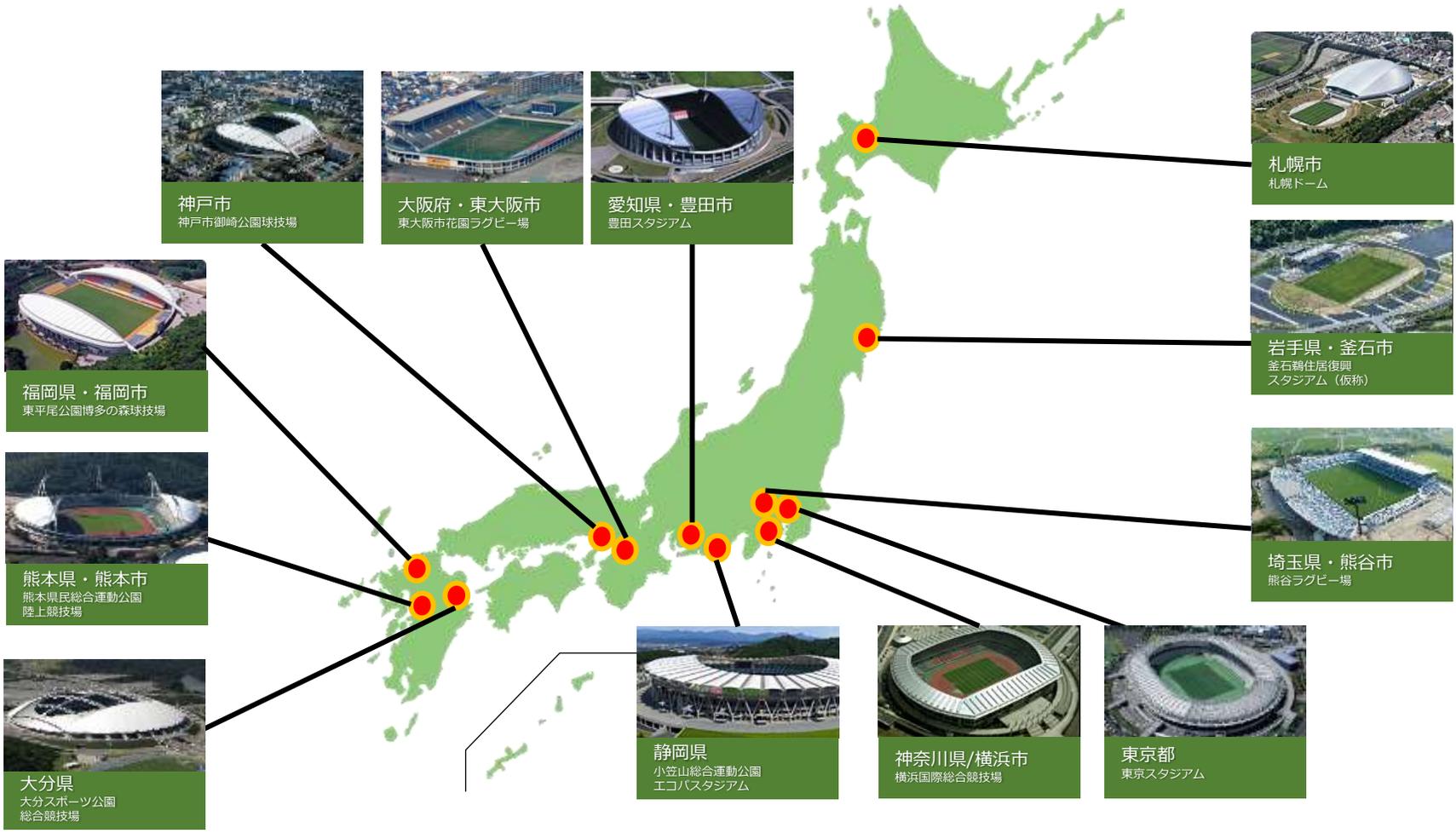
ラグビーワールドカップ2019™ 開催都市



全国 **12** 会場で実施



長期間、全国各地で、同時併行的に実施



ベニユー紹介：札幌ドーム



- 日本ラグビー、北の拠点としての北海道
- 2020年オリンピックのサッカー会場(予定)

名称	札幌ドーム
開催都市	札幌市
収容人数	41,410人

試合日	対戦カード
9月21日(土)	オーストラリア v フィジー
9月22日(日)	イングランド v トンガ

※ 収容人数と大会での座席数は異なります(以下同じ)。

ベニユー紹介：釜石鵜住居復興スタジアム



- 復興のシンボル（津波被災地に新設）
- ラグビーの街・釜石のレジェンド（新日鉄釜石の7連覇）

名称	釜石鵜住居復興スタジアム
開催都市	岩手県・釜石市
収容人数	16,020人

試合日	対戦カード
9月25日 (水)	フィジー v ウルグアイ
10月13日	ナミビア v カナダ

ベニュー紹介：熊谷ラグビー場



- 関東のラグビー拠点（女子、高校も含む。）
- 2019年に向け大改修

名称	熊谷ラグビー場
開催都市	埼玉県・熊谷市
収容人数	24,000人

試合日	対戦カード
9月24日 (火)	ロシア v サモア
9月29日 (日)	ジョージア v ウルグアイ
10月 9日 (水)	アルゼンチン v アメリカ



ベニュー紹介：東京スタジアム

RUGBY
WORLD CUP™
JAPAN 日本 2019



- 首都・東京のメインスタジアム（新国立競技場は、2019年11月完成予定）
- 2020年オリンピック・パラリンピック会場予定地

試合日	対戦カード
9月20日 (金)	日本 v ロシア（開幕戦）
9月21日	フランス v アルゼンチン
9月29日 (日)	オーストラリア v ウェールズ
10月 5日	イングランド v アルゼンチン
10月 6日	ニュージーランド v ナミビア
10月19日	準々決勝2
10月20日	準々決勝4

名 称	東京スタジアム
開催都市	東京都
収容人数	49,970人

ベニユー紹介：横浜国際総合競技場



- 最多の収容人数
- 2020年オリンピックのサッカー(予定)

名称	横浜国際総合競技場
開催都市	神奈川県、横浜市
収容人数	72,327人

試合日	対戦カード
9月21日 (土)	ニュージーランド v 南アフリカ
9月22日 (日)	アイルランド v スコットランド
10月12日	イングランド v フランス
10月13日	日本 v スコットランド
10月26日 (土)	準決勝1
10月27日 (日)	準決勝2
11月 2日	決勝



- 2002年サッカーワールドカップの会場ともなった5万人収容の大規模スタジアム
- サッカー・Jリーグでも活用

名 称	小笠山総合運動公園 エコパスタジアム
開催都市	静岡県
収容人数	50,889人

試合日	対戦カード
9月28日(土)	日本 v アイルランド
10月 4日(金)	南アフリカ v イタリア
10月 9日(水)	スコットランド v ロシア
10月11日(金)	オーストラリア v ジョージア

ベニュー紹介：豊田スタジアム



- 東海のラグビー拠点

試合日	対戦カード
9月23日 (月)	ウェールズ vs ジョージア
9月28日 (土)	南アフリカ vs ナミビア
10月 5日	日本 vs サモア
10月12日	ニュージーランド vs イタリア

名 称	豊田スタジアム
開催都市	愛知県、豊田市
収容人数	45,000人

ベニユー紹介：東大阪市花園ラグビー場



- 高校ラグビーの聖地
(≡野球の甲子園)
- 関西のラグビー拠点
- 2019年に向けて大改修

名 称	東大阪市花園ラグビー場
開催都市	大阪府、東大阪市
収容人数	24,100人

試合日	対戦カード
9月22日 (日)	イタリア v ナミビア
9月28日 (土)	アルゼンチン v トンガ
10月 3日	ジョージア v フィジー
10月13日	アメリカ v トンガ

ベニユー紹介：神戸市御崎公園球技場



- サッカー・Jリーグでも活用
- 神戸製鋼のレジェンド

名称	神戸市御崎公園球技場
開催都市	神戸市
収容人数	30,132人

試合日	対戦カード
9月26日 (木)	イングランド vs アメリカ
9月30日 (月)	スコットランド v サモア
10月 3日 (木)	アイルランド v ロシア
10月 8日 (火)	南アフリカ v カナダ



- 九州の拠点・福岡

名 称	東平尾公園博多の森球技場
開催都市	福岡県・福岡市
収容人数	20,049人

試合日	対戦カード
9月26日 (木)	イタリア v カナダ
10月 2日	フランス v アメリカ
10月12日	アイルランド v サモア

ベニユー紹介：大分スポーツ公園総合競技場

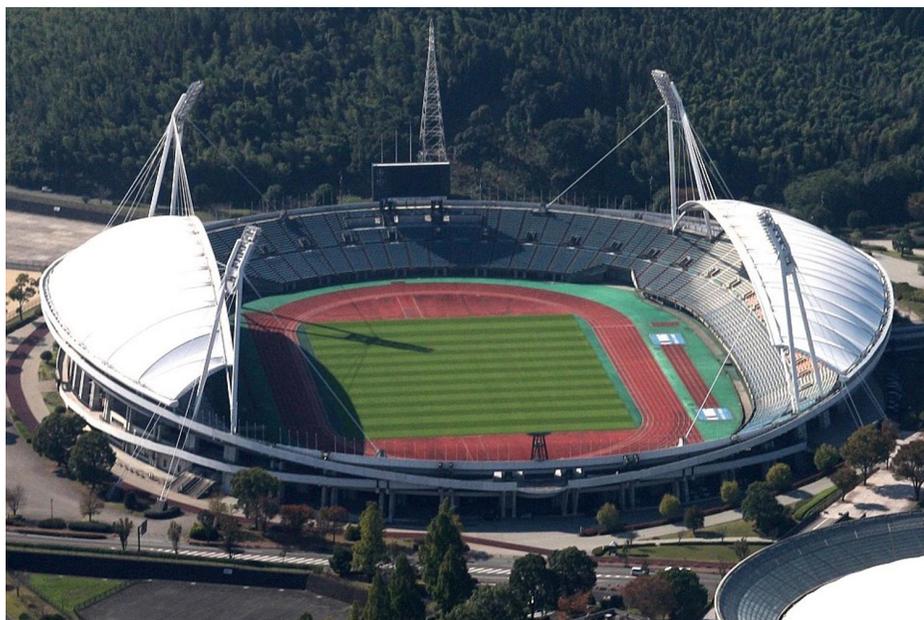


- 4万人収容の大規模競技場
- 準々決勝2試合を実施

名 称	大分スポーツ公園 総合競技場
開催都市	大分県
収容人数	40,000人

試合日	対戦カード
10月 2日	ニュージーランド v カナダ
10月 5日	オーストラリア v ウルグアイ
10月 9日	ウェールズ v フィジー
10月19日	準々決勝1
10月20日	準々決勝2

ベニユー紹介：熊本県民総合運動公園陸上競技場



- 熊本地震からの復興のシンボルとして、熊本の元気な姿を世界に発信！
- 国体、高校総体の主ステージとしての感動の歴史に新たな一ページを追加

名称	熊本県民総合運動公園 陸上競技場
開催都市	熊本県・熊本市
収容人数	32,000人

試合日	対戦カード
10月 6日	フランス v トンガ
10月13日	ウェールズ v ウルグアイ



大会開催に伴う経済効果

ラグビーワールドカップ2019
大会前経済効果分析レポートより



経済波及効果 **4,372** 億円 (29.7億ポンド)



GDP 増加分 **2,166** 億円 (14.7億ポンド)

外国からの観客には富裕層が多い
⇒長期滞在・期間中リピート

「英国ラグビーファン層の収入は平均より**20%高い**」
(某カード会社幹部)

ラグビーワールドカップ[®]2019™ 試合日程



開催都市	開催会場	プール戦					決勝トーナメント		
札幌市	札幌ドーム	9/21土 13:45	9/22日 19:15						
岩手県・釜石市	釜石錦住居復興スタジアム	9/25水 14:15	10/13日 12:15						
埼玉県・熊谷市	熊谷ラグビー場	9/24火 19:15	9/29日 14:15	10/9水 13:45					
東京都	東京スタジアム	9/20金 19:45	9/21土 16:15	9/29日 16:45	10/5土 17:00	10/6日 13:45	10/19土 19:15	10/20日 19:15	11/1金 18:00
神奈川県・横浜市	横浜国際総合競技場	9/21土 18:45	9/22日 16:45	10/12土 17:15	10/13日 19:45		10/26土 17:00	10/27日 18:00	11/2土 18:00
静岡県	小笠山総合運動公園エコパスタジアム	9/28土 16:15	10/4金 18:45	10/9水 16:15	10/11金 19:15				
愛知県・豊田市	豊田スタジアム	9/23月 19:15	9/28土 18:45	10/5土 19:30	10/12土 13:45				
大阪府・東大阪市	東大阪市花園ラグビー場	9/22日 14:15	9/28土 13:45	10/3木 14:15	10/13日 14:45				
神戸市	神戸市御崎公園球技場	9/26木 19:45	9/30月 19:15	10/3木 19:15	10/8火 19:15				
福岡県・福岡市	東平尾公園博多の森球技場	9/26木 16:45	10/2水 16:45	10/12土 19:45					
熊本県・熊本市	熊本県民総合運動公園陸上競技場	10/6日 16:45	10/13日 17:15						
大分県	大分スポーツ公園総合競技場	10/2水 19:15	10/5土 14:15	10/9水 18:45		10/19土 16:15	10/20日 16:15		

ラグビーワールドカップ2019™ 試合日程



<開幕戦>

9月20日(金)19:45~

会場：東京スタジアム(東京) : 日本 v ロシア

<日本代表の日程>

9月28日(土)16:15~

会場：小笠山総合運動公園 : 日本 v アイルランド
エコパスタジアム(静岡)

10月5日(土)19:30~

会場：豊田スタジアム(愛知) : 日本 v サモア

10月13日(日)19:45~

会場：横浜国際総合競技場 : 日本 v スコットランド
(神奈川)

外国要人が多数来日する行事が連続、 国全体が厳戒態勢に

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 4月30日～5月1日 | 退位の礼・即位の礼(剣璽等承継の儀) |
| 6月29日～30日 | G20サミット(大阪) |
| 7月～翌年4月 | 東京オリンピックテストイベント |
| 7月28日 | 参議院議員通常選挙 |
| 8月28日～30日 | 第7回アフリカ開発会議(横浜) |
| <u>9月20日～11月2日</u> | <u>ラグビーワールドカップ2019</u> |
| 10月22日 | 即位の礼(即位礼正殿の儀) |
| 11月14日 | 大嘗祭 |

- 1874年 横浜にて記録上初めてのラグビー試合
- 1899年 日本への導入
(慶應義塾大学ラグビー部創部)
- 1901年 横浜にて慶應義塾大学対横浜フォリナーズ
- 1910年 京都下鴨神社「ラグビー第一蹴の地」
- 1911年 三高対慶應 (日本人同士の初試合)
- **1923年 北野中学ラグビー部創部**
- 1926年 日本ラグビー協会創立

各大学（旧制高校）が旧制中学を支援
自校選手の確保、ラグビーの普及宣伝、底辺の拡大

特に、早稲田**OB**中村元一氏（大阪毎日新聞勤務）
京大現役選手 奥村竹之助氏と土井太郎氏
関西大学、大阪高校

1924年（大正13年）1月 第一回天中戦（3 - 1 1）

この後、ラグビー部以外の卒業生も進学先で名選手に

- 昭和10年（1935年）頃
天中戦 = 大阪スポーツの華
全校生応援の一大行事
花園に近鉄臨時列車

ラグビートリビア：

なぜ近鉄は花園にラグビー専用競技場を
造ったのか？

天王寺と並んで大阪トップ

全国中等学校大会常連出場

OB会盛り上げ、現役支援の中核としての功績世代

ラグビートリビア：

敵性語禁止→ラグビー＝鬪球

ではアメフットは？

物資不足、食糧難、大会の中止、事実上の休部等々

1945年（昭和20年）12月に天中戦復活

1948年（昭和23年）学制改革 = 新制高校
= 大手前との交流
= 部員半減

昭和 3 0 年代

ライバルは天王寺、四條畷、興国

各種大会の決勝、準決勝でたびたび激突

昭和 4 0 年代

受験戦争の中での**3**年生早期引退

それでも残った**3**年生（**82**期、**85**期等）

昭和 5 0 年代～ 6 0 年代

体制整え、本気で花園を目指す

100期の出場に結実



廃部危機からの立ち上がり

2014年 三年生2人だけの部員

2015年 2人の卒業と同時に部員ゼロ

2人→0人→4人→8人→11人→17人→22人

2018年

全国大会予選にフルフイフティーンで10年ぶり出場
しかも1勝

8年ぶりに天高戦

頑張れ現役!!



ラグビー各層を支えるOBたち

選手として（進学先の中核、ジャパン等々の選抜）

指導者として（協会、企業、大学、地域）

草の根ファンとして

惑ラグビー（白→青→赤→黄→紫→金）

ラグビートリビア：不惑、惑々、迷惑、有惑、鯨惑
それぞれどこのチーム



北野出身のジャパン代表

60期 田中昭氏 ロック 北中→早稲田→川崎重工

61期 大塚卓夫氏 センター 北中→関学→サント
リー

63期 堀川文男氏 ハーフ 北中→関学→大阪府警

112期 廣瀬俊朗氏 ウイング/スタンド
北野→慶応→東芝

TBS日曜ドラマ「ノーサイドゲーム」出演中



トップレフリーも

野々村博先生 昭和32～62年

田中伸明先生（自見監督とのコンビ）花園へ

原田隆司氏 98期 大教大 我が国初のプロレフリー



六稜魂とラグビースピリッツ



文武両道、絆、リーダーシップ、社会貢献

One for All, All for One.

RESPECT

NO SIDE

One for All, All for One

(1) プレイヤー相互

- ・ 得点した後の振る舞い
- ・ アフターマッチファンクション(後出)

(2) 観客 → ゲーム、観客相互

- ・ 静かなスタンド ⇔ 和気藹々のスタンド
⇔ 沸き起こる大拍手と応援歌
- ・ ファンの出入り口さえを分ける某スポーツとの違い

(3) レフリー = その絶対性

- ・ チャレンジなし (元はアシスタントも無し)
- ・ アドバンテージルールの存在

“No Side” の存在

～ 「サイド」とは？

～ 「ゲームセット」でも「ゲームオーバー」でもない
「ノーサイド」

(1) オフサイド・オンサイド

(2) ゲームのノーサイド

= アフターマッチファンクション

(3) 観客のノーサイド

= スタンド内外の景色、
試合前・試合中・試合後





4年に一度じゃない。
一生に一度だ。

— ONCE IN A LIFETIME —

